

2013年度は将来の独立採算を目指した、 しっかりとした基盤づくりを実施

RESEARCH

病院行脚で
シーズを徹底的に探索

ネットワークの有望なシーズの探索に向けて、岡山大学病院の「新医療研究開発センター」を中心に、2013年度から、ネットワークの病院を順次訪問しています。

SYSTEM

ネットワーク全体での
情報共有の基盤づくり

中長期での発展性・拡張性を見越して、クラウド型の症例収集システムの導入、運用済の疾患別データ収集システムの利用拡大など、ICH-GCPに準拠した臨床試験に適合するデータベース管理の整備に着手しました。

多施設共同の
臨床研究の推進を支援

複数の病院で共同した臨床研究を支援するために、統一した標準業務手順書を作成し、倫理的妥当性および科学的妥当性を担保します。

MANAGEMENT

中央西日本臨床研究
コンソーシアム連絡会議

2013年9月27日

コンソーシアム参加病院や実務担当者約50人が参加。臨床研究の推進に向けた活発な質疑が行われました。



臨床研究中核病院
キックオフシンポジウム

2013年10月5日

研究者、製薬会社など約170人が参加。大学病院としての臨床研究推進の現状と方向性をパネル討議しました。



第1回国立大学附属病院
中国・四国地区 臨床研究推進連絡会

2013年11月28日

中国・四国地区の連絡会を開催しました。各大学の臨床研究推進の取り組み状況や、課題を共有し、意見交換しました。



岡山大学病院が臨床研究中核病院に指定され早くも1年が経とうとしています。

現在、政府は健康・医療分野を成長戦略産業として位置付け、医療関連産業を活性化させることで、日本国経済の成長に寄与するだけでなく、国民に世界最先端の医療技術やサービスを提供することを掲げています。臨床研究中核病院は、その実現に向けオールジャパンでの医薬品・医療機器を開発するための基幹病院として重要な役割を担っております。

岡山大学病院は平成24年11月に発足しました「中央西日本臨床研究コンソーシアム」を一つの病院、すなわち「メガホスピタル」として機能させ、また、中国・四国地区の国立大学病院間で連携をとりながら、政府が掲げる課題をクリアし、医療の発展とその成果を社会に還元できるように一層努力していく所存です。

岡山大学病院長
榎野 博史

岡山大学病院 新医療研究開発センター
〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5-1
tel : 086-235-6503 fax : 086-235-6505
email : ouh-csnw@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学病院 臨床研究中核病院
<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/hos/core/>



岡山大学病院 臨床研究中核病院 成果報告パンフレット (2014年版) 概要版



常に事業化や患者目線の成果を にらんだ 臨床研究を推進



発明化合物の 抗 HCV 薬、 抗マラリア薬の 臨床試験

抗マラリア薬、抗C型肝炎薬の
First in Man の実施と Phase III へ向けた
剤型改善に関する研究

抗 HCV 薬

- 特徴① 他薬と比較しきわめて安価
アジア諸国の C 型肝炎対策に貢献
- 特徴② インターフェロンが効かない・
使えない症例など難治性に対応

抗マラリア薬

- 特徴① 経口のみならず経皮吸収性剤など
適用範囲が広い
- 特徴② 現在の抗マラリア薬の薬剤耐性
発現後の切り札に発現後の切り札に

岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科



綿矢有佑特命教授



加藤宣之教授



金恵淑准教授



土居弘幸教授

アカデミアにより 長年の乳がん治療の 現場で切望された 至適用量拡大を実現

進行・転移性乳がんに対する
ドセタキセル 100mg/m² の
薬物動態試験

- 特徴① 乳がん治療を国際標準に
- 特徴② 国内でも世界標準治療量が可能に
- 特徴③ 本薬を使用した国際共同臨床試験に
日本の参加増加

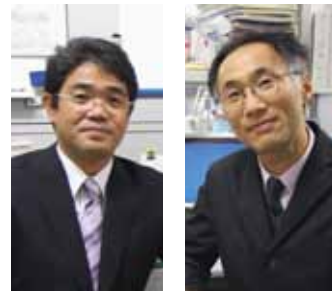


岡山大学病院
新医療研究開発センター
平田泰三准教授

失明患者に 希望の光 人工網膜で 視力回復へ

岡山大学方式の人工網膜の医師主導治験

- 特徴① 既存製品より大幅に安価
(1,000 万円→ 40 万円)
- 特徴② 現在の標準手術技術で対応可
- 特徴③ 電極を使わず
神経細胞を
刺激



岡山大学大学院
自然科学研究科
内田哲也准教授
(工学系)



岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
松尾俊彦准教授
(医学系)

難治性慢性 GVHD の 標準治療の 選択肢に

難治性慢性移植片対宿主病を
対象としたタミパロテンの
多施設共同医師主導臨床試験

- 特徴① 難治性慢性移植片対宿主病
(GVHD) に対する、
bench to bedside の医師主導
臨床第 II 相試験
- 特徴② 難治性慢性 GVHD に対する
標準治療の選択肢のひとつになる
可能性
- 特徴③ 多施設共同治験としてスタート



岡山大学病院
血液・腫瘍内科
前田嘉信助教

“世界標準” の 歯科用局所麻酔剤 アーティカインを 日本に導入

歯科用局所麻酔剤アーティカインを用いた
医師主導治験

- 特徴① 世界は“アーティカイン”
ドラッグ・ラグを解消
- 特徴② 強い鎮痛効果を有している
痛くない歯科治療のために
- 特徴③ 代謝が速く、安全性が高い
超高齢社会に
優しい薬剤



岡山大学大学院
医歯薬学総合研究科
(岡山大学病院歯科麻酔科)
宮脇卓也教授

支援シリーズ以外にも岡大病院は多彩なシリーズがあります。

- 世界初** 生体肺の中葉移植を実現。体格の小さい小児の患者に母親から中葉を移植。
小児の臓器移植に曙光
- 世界初** iPS 細胞からがん幹細胞を作製、がん組織ができるプロセスの研究により、
がんの実態解明を目指す
- 世界初** がんのみを攻撃し、副作用がほぼない、がん治療遺伝子 (REIC) によるがん
治療の臨床研究
- 世界初** 機能的単心室症のこどもに対する再生医療の臨床試験/心臓のポンプ能力
が向上
- 世界初** 腫瘍融解ウイルス「テロメライシン」の効果を証明

